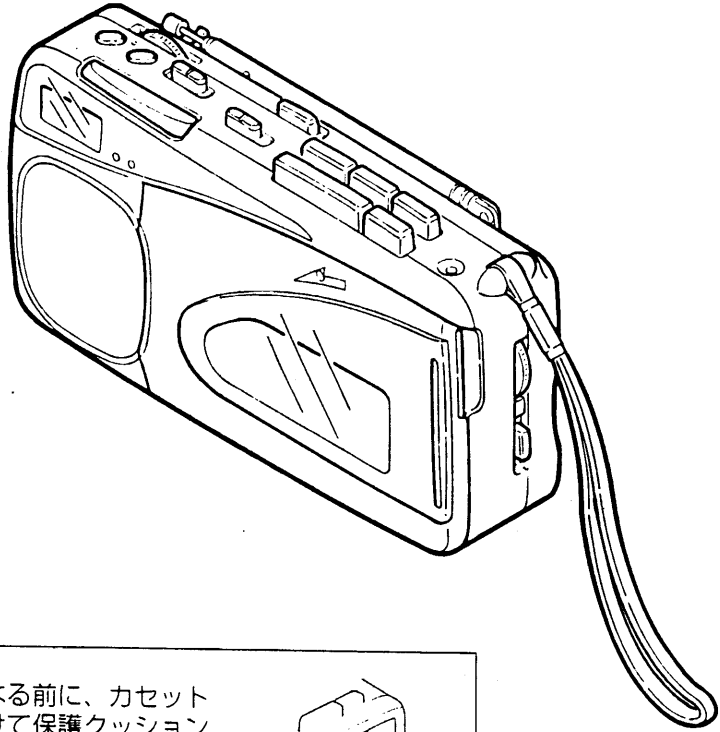
取扱説明書

モノラルラジオカセットレコーダー

TRK-81T形

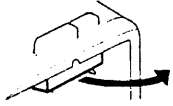
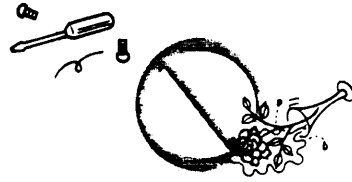
このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために「**保証書**」、「**ご相談窓口一覧表**」とともに大切に保存してください。

お使いになる前に、カセットぶたを開けて保護クッションを取りはずしてください。

1AD6P1P0144-B

● お客さまメモ

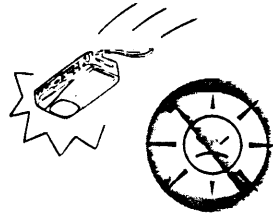
お買い上げの際に記入しておいてください。修理などを依頼されるときに便利です。

品　番	TRK-81T
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ販売店名	TEL

㊉ 株式会社 日立製作所
〒105－8430 東京都港区西新橋2－15－12
TEL(03)3502－2111

必ずお守りください

故障の原因になります

分解したり、改造したりしないでください。故障の原因になります。

水がかかったらただちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機には別売のACアダプター(A-81T)をご使用ください。それ以外のものを使用すると火災の原因になることがあります。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、本機の上に乗ったりしないでください。

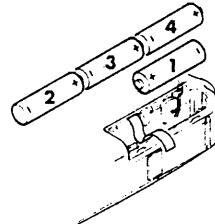
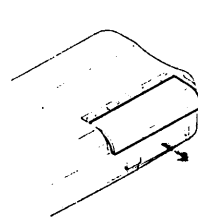
長時間直射日光の当たるところ、暖房機などの近くで使用したり、放置しないでください。
60℃ 以上の高温になると、キャビネットが変形したり・変色したりすることがあります。

湿気の多い所や水のかかりやすい所で使用・放置しないでください。また、**ほこり**の多い所も避けてください。

ご注意

本機のスピーカーには**強力な磁石**を使っていますので、時計、クレジットカードなどの磁気カードや、カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープは本機のそばに置かないでください。

乾電池でご使用の場合

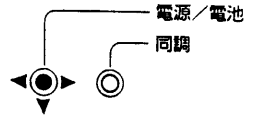
背面にある**電池ぶた**を開け、付属の**単3形乾電池4個**を図のように入れ、ふたを閉めます。

リボンを下にひいて乾電池を入れておくと、取り出しやすくなります。

● 極性の ⊕ ⊖ を間違えないように図に示す番号順に入れます。

乾電池の交換について

動作中に**電源／電池**インジケーターが暗くなったり、消えたりしますと乾電池は消耗しています。**全部新しい乾電池**と交換してください。
乾電池が消耗してくると、次のような現象があります。

○ 音が小さい、ひずむ。
○ テープ速度が遅くなる。
○ ラジオは聞けてもテープレコーダーが正常に動作しない。

電源／電池
同調

● 乾電池はときどき休ませたほうが長く使えます。
● 大切な録音または長時間の録音をするときは、あらかじめ新しい乾電池に交換するか別売のACアダプターの使用をおすすめします。

乾電池は正しく使いましょう

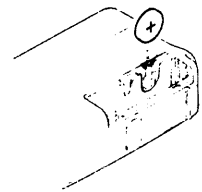
使い方を間違えますと「**破裂**」したり、「**液もれ**」するなどして故障や事故の原因になりますので、次の点にご注意ください。

● 乾電池を交換するときは、**4個とも新しい同じ種類**のものをお使いください。使いかけの乾電池や種類の異なる乾電池の混用はしないでください。
● 一ヵ月以上お使いにならないときは、乾電池を取り出しておいてください。
● 乾電池は充電したり、加熱したり、分解したり、火の中に投入したりしないでください。

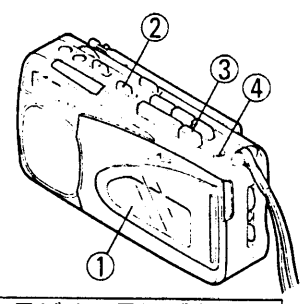
ご注意
万一、漏れた電解液が皮膚についたときは、すぐに水で洗い流してください。また電池入れについた液はよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

ボタン電池について

ボタン電池(リチウム電池)は、時計用バックアップ電池です。乾電池の交換や外部電源をはずしたときでも、時計部は動作しています。
ボタン電池を交換するときは、単3形乾電池を取り出してから行なってください。

● **極性**の ＋ － を間違えないように底面に当たるところまで入れてください。
● 乾電池が消耗したときに、**ボタン電池**が消耗すると時刻が狂ったり、表示がうすくなったりしますので早めに交換してください。
● ボタン電池は1年ぐらいを目安に交換してください。
付属のボタン電池はモニター用ですので1年にならないうちに消耗することがあります。
● **ボタン電池**の交換は、**リチウム電池CR2016**または同等品をお買い求めください。
● **ボタン電池**を交換したときは、必ず現時刻の設定をしなおしてください。

ご注意
ボタン電池は幼児の手の届かないところに置いてください。誤って電池を飲み込んでしまうと非常に危険です。
万一、飲み込んでしまったときは、ただちに医師と相談してください。

録音をする

● 一時停止スイッチを「解除」にしておいてください。
● 録音される音はモノラルです。

周囲の音を録音するには

① テープを入れる

② ファンクションスイッチを切り換える。
テープ 切 にする。

③ 録音 ボタンを押す。

④ 内蔵マイクに向かって話す。

停止ボタンを押して録音を終了する。

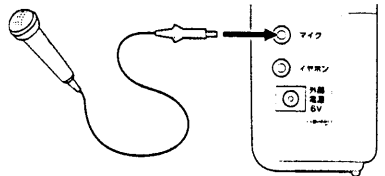
テープが最後まで巻き取られると自動的にボタンが復帰します。

ラジオ・テレビ音声を録音するには

ラジオにする。

"ラジオ・テレビ音声を聞く"をみて録音したい放送を選ぶ。

ちょっとこれを！
● 外部マイクで録音するときは、あらかじめマイク端子に外部マイク（別売）を接続しておいてください。
● 内蔵マイクや外部マイクに向かって話しても、スピーカーからは何も聞こえません。（録音はされています。）

クイック録音について
再生中に 録音 ボタンを押すとそのまま録音状態になります。

自動録音レベル調整について

本機にはALC(Automatic Level Control：自動録音レベル調整のこと) 回路が内蔵されていますので、自動的に適正なレベルで録音されます。
録音中に音量つまみを調節しても録音には影響しません。

著作権について
● 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
● 従ってそれらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
● 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）におたずねください。　本部　TEL 03 (3502) 6551

スリープの使いかた

テープやラジオ・テレビ音声を聞きながら眠っても、設定した時間がたつと自動的にテープ・ラジオ・テレビ音声が止まります。

（例）　45分

① モードスイッチをスリープにする。
（モード：現時刻　スリープ　増音タイマー）

② 送りボタンを押す。
"分"が点滅

③ 時刻セットつまみで"45（分）"に合わせる。

1～99分まで設定できます。

④ 送りボタンを押す。

⑤ 切／入ボタンを押す。
"★ SLEEP"が点滅し、スリープがスタートし、カウントダウンを始める。

45分後、自動的にテープ／ラジオ・テレビ音声が止まります。

⑥ 切／入ボタンを押し、スリープを終了する

このときモードスイッチはスリープの位置でないと解除できません。

"★ SLEEP"が消える。

⑦ スリープをかけていたテープやラジオ・テレビ音声が聞こえてきます。それぞれの動作を終了させてください。
テープのとき・・・・・・・・・・停止ボタンを押す。
ラジオ・テレビ音声のとき・・・ファンクションスイッチをテープ 切 にする。

● スリープ設定後、モードスイッチを切換えたり、テープ／ラジオ・テレビを換えてもスリープは動作しています。
● 動作終了後は必ず切／入ボタンを押してスリープを解除してください。「★ SLEEP 0：00」のままですとテープやラジオ・テレビ音声を聞くために操作しても動作しません。
● 停止状態／動作状態にかかわらず設定することができます。
● スリープを途中で解除したいときは、モードスイッチをスリープにして、切／入ボタンを押します。

タイマー（目覚まし）の使いかた

タイマーを使って留守録音することができます
ラジオ・テレビ音声を受信したあと、②～⑥の操作をし、テープを入れて（録音）ボタンを押します。
このとき、音量つまみは最小にしぼっておいてください。
● テープが最後までいくとオートストップがはたらいて録音は終了しますが放送は受信し続けます。
● タイマー動作後、128分たつと電源が自動的に切れます。

（例）　午前 7：10

① ラジオ・テレビ音声でお目覚めのとき
ファンクションスイッチをラジオにし、あらかじめ聞きたい放送局を受信します。
（"ラジオ・テレビ音声を聞く"参照）
テープでお目覚めのとき
ファンクションスイッチをテープ 切 にし、聞きたいテープを入れます。

② お好みの音量にします。
（タイマー動作時の音量）

③ モードスイッチを増音タイマーにする。
（モード：現時刻　スリープ　増音タイマー）

④ 「現在時刻の合わせかた」の②～⑥を見て目覚ましのAM 7:10を設定します。

⑤ 切／入ボタンを押す。

"TIMER"が点灯

テープでお目覚めの場合はここで 再生 ボタンを押す。

● タイマーの設定をしたあとは、時計/タイマー表示部を現時刻にしておいてください。

AM 7：10になると自動的にテープ／ラジオ・テレビ音声が聞こえてきます。このとき音声はだんだん大きく聞こえてきます。

"TIMER"が点滅する

⑥ 目覚まし 5分後 くり返しボタンを押すと一時動作が停止し、5分後に動作をくり返します。

このボタンを押さないと
ラジオ・テレビ音声のとき
128分間鳴り続けた後、自動的に電源が切れます。
テープ再生のとき
テープがオートストップすると電源は切れます。

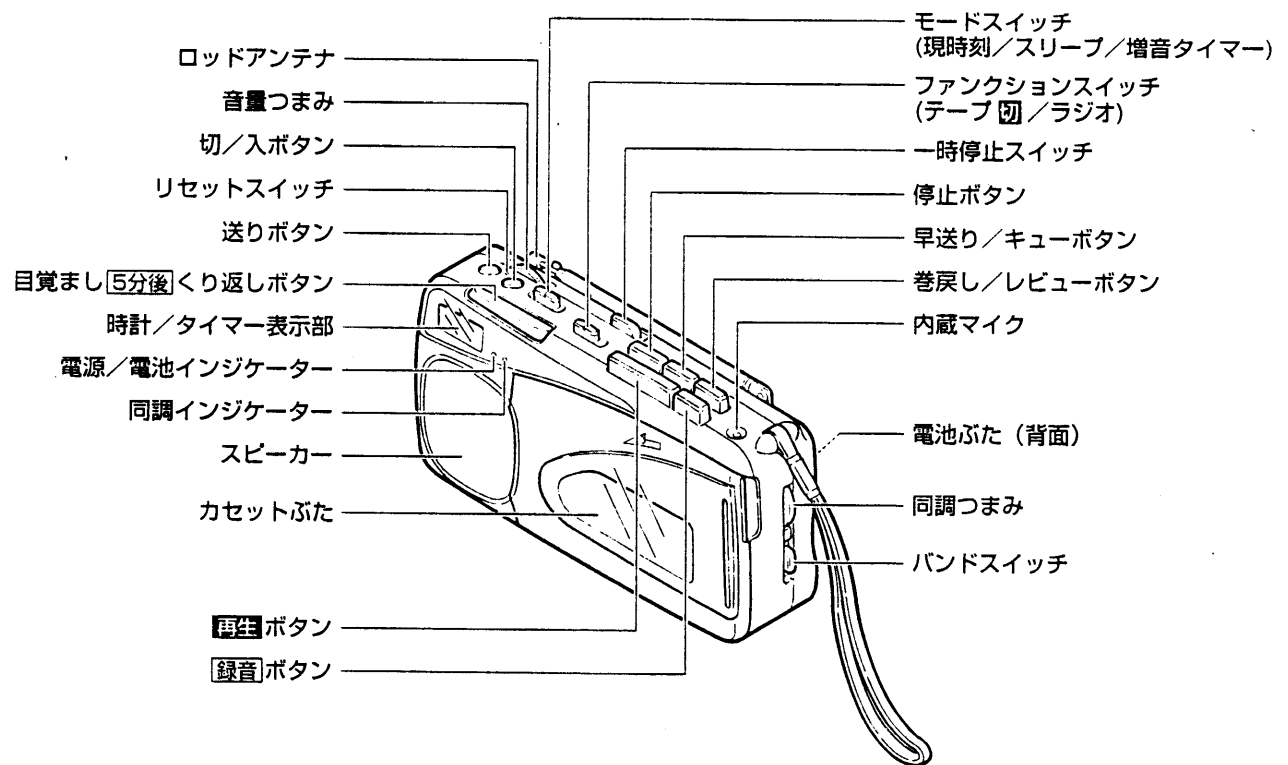
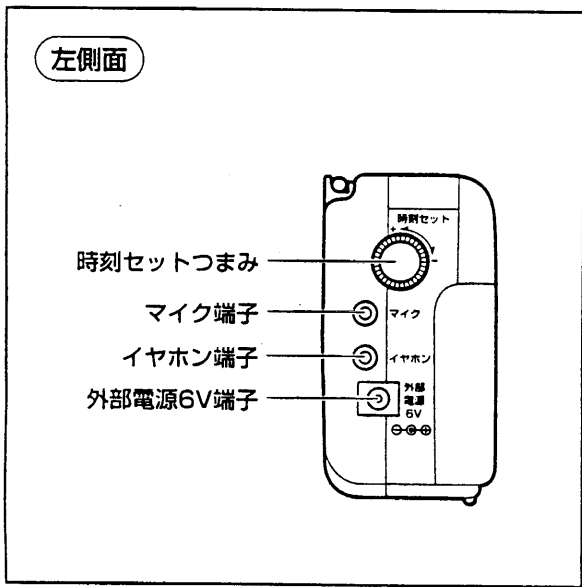
⑦ 切／入ボタンを押し、タイマーを終了する。

"TIMER"が消える

このときモードスイッチは増音タイマーの位置でないと解除できません。

⑧ タイマーをかけていたテープやラジオ・テレビ音声が聞こえてきます。それぞれの動作を停止させてください。
テープのとき
・・・停止ボタンを押す。
ラジオ・テレビ音声のとき
・・・ファンクションスイッチをテープ 切 にする。

● タイマー設定後、モードスイッチを切換えてもタイマーは動作します。
● タイマーをセットしているときはテープやラジオ・テレビ音声を聞こうとしても動作しません。
● テープでお目覚めのとき、一時停止スイッチが「一時停止」側になっていますと設定した時間になってもテープは動作されません。
● スリープとタイマーを同時にお使いになるとき、ファンクションスイッチ（テープ／ラジオ）は同じ位置に設定してください。
● タイマーを途中で解除したいときは、モードスイッチを増音タイマーにして、切／入ボタンを押します。

各部のなまえ

現在時刻の合わせかた

(例)　午後３：15

① モードスイッチを現時刻にする。

② 送りボタンを押す。

"時"が点滅

③ 時刻セットつまみで"PM３：(時)"に合わせる。

④ 送りボタンを押す。

"分"が点滅

⑤ 時刻セットつまみで"15(分)"に合わせる。

⑥ 送りボタンを押す。

時刻合わせ終了

リセットスイッチ
ボタン電池交換後や時計表示が異常になったときに細い棒(つまようじなど)で押してください。
現時刻・**スリーブ時間**・**タイマー時間**が初期設定になります。

ラジオ・テレビ音声を聞く

"TIMER"の表示が点灯しているときは(タイマー待機状態)、電源は入りません。次の操作をしてタイマーを解除してください。
1. モードスイッチを**増音タイマー**にする。　2. 切／入ボタンを押す。

① ファンクションスイッチをラジオにする。

② バンドを選ぶ。

③ 放送局を選ぶ。

④ 音量を調節する。

ファンクションスイッチを**テープ 切** にする。

受信終了

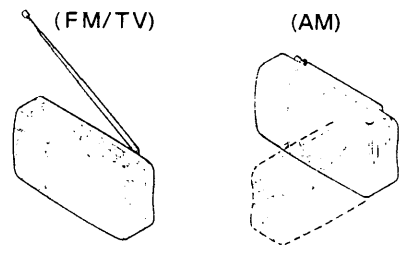
ちょっとこれを！
- 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはTVの２または３chの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
- TVに色ズレが生じたり、本機にTVの雑音が入る場合は、本機をTVから離してご使用ください。
- 室内アンテナを使用しているTVの近くで、本機でTV音声を聞くと、TVの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をTVから離してください。

アンテナの調節
放送をきれいな音で聞くためにはアンテナの調節が必要です。

FM／TV放送のとき
ロッドアンテナを伸ばし、もっともよく聞こえるようにします。

AM放送のとき
内蔵のアンテナがはたらきますので、向きを変えて、もっともよく聞こえるようにします。

(FM/TV)

(AM)

テープを聞く

- 一時停止スイッチは「解除」にしておいてください。
- 再生音はモノラルです。

① ファンクションスイッチを**テープ 切** にする。

② テープを入れる。

再生したい面を手前にして入れます。

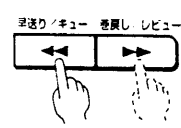
③ **再生** ボタンを押す。

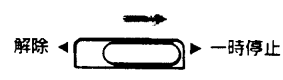
④ 音量を調節する。

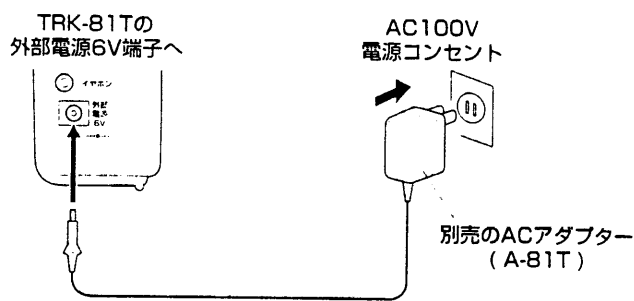
停止ボタンを押す。

再生終了

テープの最後まで再生し終わると、自動的に **再生** ボタンが復帰します。

キュー／レビューについて
再生・録音中にこのボタンを押すと"キュルキュル"音がなり、テープが早送りまたは巻戻しされます。
(録音中のときは、**録音**ボタンが復帰します。) ボタンをはなすとそこから再生が始まります。

早送り／巻戻しについて
テープが停止しているときにこのボタンを押すと、テープが早送りまたは巻戻しされます。最後までテープが巻きとられたら**停止**ボタンを押してください。**停止**ボタンを押さないと**早送り**や**巻戻し**ボタンが復帰しませんので電池の消耗や故障の原因になります。

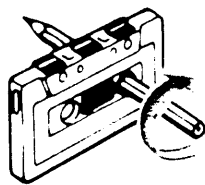
一時停止スイッチについて
一時停止側にするとテープが一時停止します。
通常は「**解除**」側にしておいてください。「**一時停止**」側になっていますと、テープの操作ができません。

家庭用AC100V電源でご使用の場合

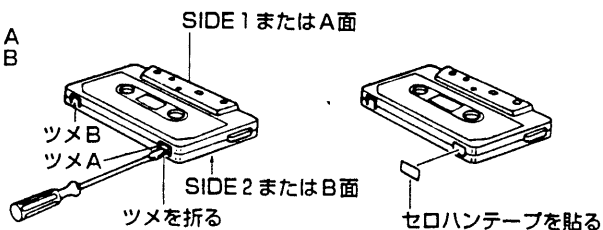
別売のACアダプター（A-81T）を図のように接続します。
ACアダプターのプラグを本機に接続しますと、自動的に外部電源に切り換わります。

- このACアダプター（A-81T）以外のアダプターを使用すると、**電圧**や**極性**の違うものがあり、故障の原因になることがあります。
- **外部電源6V端子**のセンターピンは ⊕ となっています。
- 長時間外部電源でご使用の場合は、乾電池を取り出しておいてください。
- ACアダプターの抜き差しは、必ずアダプター本体を真っすぐに持って行なってください。
- ご使用になった後は本機及びコンセントからアダプターを抜いておいてください。

カセットテープについて

テープにたるみがあるときは・・・

巻き込んだりして故障の原因になりますので、鉛筆などでたるみをとってから入れてください。

- リーダーテープ部を巻取るときは、矢印方向に回してください。逆に回すと巻き込みの原因になります。
- テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

大切な録音を消さないために

録音済みのテープに新しい録音をすると、前の音は自動的に消されて新しい音が録音されます。カセットの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。誤って折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさぐと録音のできるテープに復元します。

お使いになるテープについて

- **ノーマルテープ**（TYPE I）を使用してください。メタル（TYPE Ⅳ）、ハイポジションテープ（TYPE Ⅱ）では正常な音質で再生・録音はできません。
- ツメを折ったカセットテープでは録音はできません。
- **100分以上**の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込んだりすることがありますので使用しないでください。
- エンドレステープは使用できません。

カセットテープの保管について

ご使用後は、所定のケースに入れ、**高温**、**多湿**、**磁気**、**直射日光**、**チリ・ホコリ**の多い場所や**カビ**の発生しやすい場所はさけて保管してください。

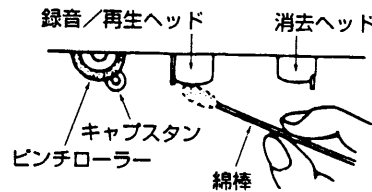
故障？その前にちょっとこれを

操作を誤っていてもなかなか気がつかず、すぐ故障と思いがちですが、修理にお持ちになる前にもう一度次の点をお確かめください。それでも異常のある場合は、乾電池を取りだし、お買い上げの販売店へご連絡ください。

こんなとき	ここをお確かめください	操作
ラジオ・テレビ音声は聞こえるが、テープが動かない	● **一時停止**スイッチが「**一時停止**」側になっていませんか？	⇒ スイッチを「**解除**」にする
	● 乾電池が消耗していませんか？	⇒ 新しい乾電池と交換する ⇒ リセットスイッチを押してみる
ラジオ・テレビ音声 テープが動かない	● **タイマー**が入っていませんか？	⇒ 入／切ボタンを押して**タイマー**を切る
	● **スリープ**が「★ SLEEP 0:00」のままになっていませんか？	⇒ 入／切ボタンを押して**スリープ**を切る ⇒ リセットスイッチを押してみる
テープの再生音がひずむ	● ヘッドが汚れていませんか？ ● 乾電池が消耗していませんか？	⇒ ヘッドを掃除する ⇒ 新しい乾電池と交換する
[録音]ボタンが押せない	● 誤消去防止ツメがとれたテープが入っていませんか？	⇒ ツメのとれていないテープと入れ替える
時計表示が薄い・表示されない 時計部の設定がうまくできない・表示がおかしい	● 乾電池 ボタン電池の両方が消耗していませんか？	⇒ 乾電池 ボタン電池両方を新しいものと交換し、リセットスイッチを押す
		⇒ リセットスイッチを押してみる

お手入れのしかた

ヘッド部のクリーニングについて

ヘッドと**キャプスタン**、**ピンチローラー**は常にテープと接触していますので汚れやすく、特にヘッド面にゴミや磁粉が付着すると、「音質が悪い」、「きれいに録音できない」、「前の音が消えない」、「テープが巻きつく」などの原因になります。定期的（約**10**時間使用ごと）にヘッド部を清掃してご使用ください。市販のクリーニングキット、またはクリーニングテープをご使用になると便利です。

テープ、ピンチローラー、キャプスタンのテープと接触する面をふいてください。

> **ヘッドの消磁**
> 長い間使っていると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。市販のイレーサー（消磁器）で定期的にヘッドの消磁をしてください。

キャビネットのクリーニングについて

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、石けん水を少し布につけてふきとり、からぶきしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

仕様

<ラジオ部>

受信周波数
- TV(VHF)：4～12CH
- FM/TV：76～108MHz(TV1～3CH)
- AM：526.5～1606.5kHz

アンテナ
- FM/TV(VHF)：ロッドアンテナ
- AM：フェライトアンテナ内蔵

<テープレコーダー部>

トラック方式
　2トラック1チャンネルモノラル
録音方式
　直流バイアス
消去方式
　マグネット消去
テープ速度
　4.8cm／秒
早送り巻き戻し時間
　約120秒（C-60）
周波数範囲
　250～6300Hz（ノーマルテープ）

<時計部>

時計精度
　月差約±30秒（周囲温度15℃）
表示方式
　時、分
電源
　DC6.0V単3形乾電池×4個
　DC3.0Vリチウム電池（停電補償用）
　（CR2016または同等品）
水晶振動数
　32.768Hz

<共通部>

スピーカー
　5.0cm 円形 8Ω×1
入力端子
　外部マイク端子×1
出力端子
　イヤホン端子（モノラルミニジャック）×1
　インピーダンス 8Ω
実用最大出力
　450mW（EIAJ/DC）
電池持続時間
　別売マンガン乾電池：R6PU(SG)使用時
　　約4時間30分（EIAJ・FM録音時）
　　約5時間30分（EIAJテープ再生時、音量20%程度）
電源
　AC100V（別売ACアダプターA-81T使用）
　DC6V、単3形乾電池4本使用
最大外形寸法
　181.5(幅)×97.8(高さ)×47.5(厚さ)mm
　（つまみ等突起物含む）
重量
　約475g（乾電池含む）
付属品
　単3形乾電池×4
　リチウム電池（時計用）×1

- 仕様及び外観は、性能改善のため予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは“故障？その前にちょっとこれを”をお調べください。
それでも不具合いな場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

❶形名：TRK-81T
❷症状：できるだけ詳しく

■転居されるときは

●ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスなどでお困りの場合は

●アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。

■保証について

●この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
●保証期間は、お買上の日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

テープレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。